

Press Release

AI とビッグデータによる疾患リスクの推定予測技術を開発する アクションリサーチ社、サクサ株式会社と資本提携を締結

アクションリサーチ株式会社（本社所在地：茨城県つくば市、代表取締役 CEO：佐藤 友美、以下アクションR）はこの度、サクサグループの事業中核会社であるサクサ株式会社（代表取締役社長 磯野文久、以下サクサ）を引受先とする第三者割当増資を実施したことをお知らせいたします。

IoT・ビッグデータ社会の到来により、AIをはじめとしたデジタル技術による産業構造改革がグローバル規模で起こっています。一方、平均寿命の延伸が続き、超高齢化社会を迎える日本では、社会保障費の増大や生産年齢人口の減少等さまざまな課題に直面しており、これらを解決するために健康寿命延伸産業の創出が求められています。その中で、特に、健康情報のビッグデータ利活用促進が重要となりつつあります。

アクションRは、AI エンジン（深層学習）と知識ベースエンジン（相関・推論・検証・最適化）のハイブリッド実装方式によるビッグデータ分析を実現する技術を開発し、社会的インパクトの大きな健康科学領域に貢献しようとしています。中でも、各個人の健康度・将来の健康阻害や疾病・疾患のリスク危険性を評価し予測推定する技術の開発に注力しています。

サクサグループは、平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 か年を事業年度とした中期経営計画において、「IoT・サービス」をキーワードに医療、社会インフラ市場等で新規事業の創生に取り組んでいます。前述の社会問題にサクサグループでは、健康寿命の延伸を図るスマートケアサービスに向けて、来るべき超高齢化社会へいち早く貢献することを目指します。

現在、サクサグループでは、医療、社会インフラ市場等において、これまで培ってきた通信、IoT、AI などの技術を活用したスマートケアサービスに注力しており、ケアサービスの現場等に取付けた生体センサ、カメラ、マイクなどの IoT デバイスから生体データを効率的に収集し、そのデータを解析することで、健康状況を把握するといった実証実験にも取り組んでいます。

今後は、アクション R の保有する高度な分析技術（検診結果などのビッグデータ分析から個人の健康度の測定、将来の健康阻害や疾病可能性を評価・予知する AI エンジン技術）を活用することで、スマートケアの実現に向けて競争優位性を確保し、積極的に展開してまいります。

両社は今後、高付加価値なスマートケアサービスの確立に向けて、IoT デバイス、解析エンジンおよびプラットフォームからアプリケーションサービスに至るまでの提供を検討し、ビジネスを共創していくことで、オフィス市場から介護、医療などの社会インフラ市場等、幅広いヘルスケア関連分野で新たな潮流を生み出し、多くの人々に貢献できるよう取り組んでまいります。

2018年2月9日

アクシオンリサーチ株式会社

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：

アクシオンリサーチ株式会社 コーポレートコミュニケーション ディレクター
富岡 桂子

TEL : 029-886-7051

Mail : pr@axionr.com